

# 副産物情勢

平成29年3月6日

JA全農ミートフーズ株式会社

内 容		備 考																										
1.内臓	①国産牛	<p>○平成29年1月成牛と畜頭数は、77.9千頭(前年比99.0%)となり、22ヶ月連続で前年割れとなった。内訳を見ると、和牛31.3千頭(前年比99.1%)、交雑牛18.0千頭(同 104.9%)、乳牛去勢14.8千頭(同 93.8%)であった。和牛、乳牛についての出荷頭数減少傾向が継続している実態を反映した数値となった。</p> <p>○平成29年2月の成牛と畜頭数は、速報値(2/28まで集計)で75.1千頭(前年比95.4%)と減少している。(独)農畜産業振興機構が2月23日に公表した牛肉の需給予測によると、3月は1日当たりの出荷頭数およびと畜場稼働日数が前年を上回ると見込まれることから、出荷頭数は僅かに、生産量はやや、いずれも前年を上回ると予測している。また、3月の出荷頭数を品種別にみると、飼養頭数が回復傾向にあることも影響し、前年を僅かに上回ると見込んでいる。</p> <p>○需要動向については、全体的によく動いている。赤モノは依然不足気味である。レバーの動きも継続している。シロモノは輸入小腸の増加のせい、全体的に動きがにぶい状況である。</p> <p>今後、と畜発生数の増加が全品種ともに見込めないことから今後も全体的な需要は継続すると思われる。</p>	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年5月26日</td> <td>34/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月6日</td> <td>30/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年11月19日</td> <td>30/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年6月9日</td> <td>30/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>平成28年6月6日</b></td> <td><b>40/枝kg</b></td> <td>9/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>*豚正貫物</p>		価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg	平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg	平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg	平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg	<b>平成28年6月6日</b>	<b>40/枝kg</b>	9/枝kg			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																									
	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg																									
平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg																										
平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg																										
平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg																										
平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg																										
<b>平成28年6月6日</b>	<b>40/枝kg</b>	9/枝kg																										
②国産豚	<p>○平成29年1月度全国の肉豚出荷頭数は1,396千頭(農林水産統計2/28公表 前年比103.4%)となった。農水省12月22日発表の1月出荷予測では、1,417千頭(前年比105%)と予測されていたものの、21千頭下回る結果となった。</p> <p>○平成29年2月の全国と畜頭数は、速報値で1,291千頭(2/28まで集計)、前年同比91.5%となっている。稼働日数では昨年と同じ20日となり、1日当たりの平均と畜頭数は速報値段階で64,550頭となっている。</p> <p>○農水省によると、今後の出荷予測頭数は平成29年3月1,468千頭(同102%)4月1,337千頭(同98%)、5月1,332千頭(101%)、6月1,344千頭(103%)となっている。</p> <p>○需要動向についてはカシラ肉に若干荷余り感はあるが、他のアカモノはだいたい堅調である。レバーは外食向け味付け焼材が好調であるためか動きが継続している。シロモノは小腸・特に大腸が昨年比去年に比べ動きが鈍い状況である。豚足は市中在庫が重く動くがにぶい。</p>	<p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年3月10日</td> <td>50/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成20年5月1日</td> <td>50/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成23年6月20日</td> <td>40/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月13日</td> <td>30/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>平成28年5月30日</b></td> <td><b>40/枝kg</b></td> <td>5/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>*H23.4.1から枝重500kg以上が510kg未満に改定</p>		価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg	平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg	平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg	平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg	<b>平成28年5月30日</b>	<b>40/枝kg</b>	5/枝kg				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																										
平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg																										
平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg																										
平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg																										
平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg																										
平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg																										
<b>平成28年5月30日</b>	<b>40/枝kg</b>	5/枝kg																										
③輸入牛	<p>○平成29年1月の輸入通関実績によると牛肉輸入量は全体で34.7千ト(前年比126.7%、前月比77.1%)であった。内訳は、チルドが17.5千ト(前年比123.2%、前月比75.7%)、フローズンは17.3千ト(同 130.6%、同 78.5%)であった。チルドビーフについては、豪州産が7.6千ト(前年比 98.9%)と僅かに減少したが、米国産が9.0千ト(同 161.2%)と大幅に増加した。(独)農畜産業振興機構が1月24日に公表した今後のチルドビーフ輸入量予測によると、現地相場安や好調な需要を背景に、特に米国産の増加が見込まれ、1月は大幅に、2月はかなり大きく、いずれも前年を上回り、12月から2月の3ヶ月平均では、前年を大幅に上回る18.0千トと見込んでいる。</p> <p>○(独)農畜産業振興機構が2月23日に公表した今後のチルドビーフ輸入量予測によると、出荷頭数の減少により豪州産の減少が見込まれる一方で、米国産は生産量の回復に伴い増加が見込まれる。2月は大幅に、3月はかなりの程度、いずれも前年を上回ると予測している。</p>	<p>3.東京市場原皮価格 単位:円/枚 *交雑牛含む</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年7月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>110/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>140/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月3日</td> <td>1,000/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,000/枚</td> <td>200/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>170/枚</td> </tr> <tr> <td>平成28年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>150/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td><b>1,500/枚</b></td> <td><b>180/枚</b></td> </tr> </tbody> </table>		価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚	平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚	平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚	平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚	平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚	平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚	平成29年1月23日/16日	<b>1,500/枚</b>	<b>180/枚</b>	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																										
平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚																										
平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚																										
平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚																										
平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚																										
平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚																										
平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚																										
平成29年1月23日/16日	<b>1,500/枚</b>	<b>180/枚</b>																										
2.原皮	①牛原皮	<p>○平成29年1月の輸出実績は、24,585枚(前年比173.8%、前月比94.4%)で、前年を大幅に上回った。輸出平均価格は5,417円/枚(前年比-1,398円、前月比+506円)となった。国別実績は、韓国5,395枚(前年比125.5%)、タイ14,440枚(同189.0%)、香港2,350枚(同106.8%)、台湾・ベトナムとも実績なし。また、インドは前年に続き600枚の実績あり。一方、ウエットブルーの輸入は、74.2千枚(前年比95.5%、前月比161.3%)、牛大判皮は32.1千枚(前年比82.9%、前月比106.6%)となった。輸出動向について、数量については回復傾向がみられ、価格は昨年末に底打ち感があり、今後の回復に期待したい。しかし、一方で、海外のタンナーでは在庫が山積しており完全な回復傾向とは言い難い。</p> <p>○輸出向け不振の状況をふまえてか、1/23より原皮価格が500円引き下げられた。</p>	<p>4.大阪市場原皮価格 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年2月21日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>平成23年7月11日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>70/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月8日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>100/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月10日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>120/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月13日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>130/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td><b>1,800/枚</b></td> <td><b>140/枚</b></td> </tr> </tbody> </table>		価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚	平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚	平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚	平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚	平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚	平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚	平成29年1月23日/16日	<b>1,800/枚</b>	<b>140/枚</b>
	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																									
平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚																										
平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚																										
平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚																										
平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚																										
平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚																										
平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚																										
平成29年1月23日/16日	<b>1,800/枚</b>	<b>140/枚</b>																										
②豚原皮	<p>○平成29年1月の輸出合計は、916,070枚(前年比103.4%、前月比70.3%)と、前年を上回った。輸出価格は867円/枚で前月比+27円、前年比+164円であった。国別実績は、台湾228千枚(前年比66.0%)、タイ656千枚(同127.2%)、韓国32千枚(同128.1%)、香港・ベトナム・フィリピンとも実績なしであった。</p> <p>○輸出動向については、現時点でも輸出量の好調さは継続している。今後もヌバック需要等により現時点でも需要が見込める状況が継続している一方、業界で頭打ち感も噂されている。輸出好調のためか1/23より原皮価格が30円引き上げられた。</p>																											
3.レンジリング	①油脂等	<p>○1月渡しの国内産食用加工油脂向け価格は、豚脂が前月同じだが、前年に比べ5円マイナスの88円(前年比94.6%)、牛脂は前月・前年とも同じの93円(同100.0%)。</p> <p>○12月マレーシア産パーム油相場は、事前予想に反して生産が減少し在庫も少なく、需給が逼迫しているため上げて106円となった。(前月比112.8%、前年比117.8%)。今後は季節的な減産期入りで、目先の供給はタイトなまま推移する予測。</p> <p>○12月の関東飼料用油脂は前月と同様の70円/kgと前年比13円安で、工業用油脂も同様で47円/kgの前年比13円安。</p> <p>○12月のUCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格は、前月と同様の61円~64円/kg辺り。前年比13円安。</p>	<p>5.油脂価格/kg(食用向け)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年8月1日</td> <td>88</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成27年7月1日</td> <td>91</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成27年8月1日</td> <td>93</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td><b>平成28年6月1日</b></td> <td><b>93</b></td> <td><b>88</b></td> </tr> </tbody> </table>		価格改定年月日	牛脂	豚脂	平成26年8月1日	88	93	平成27年7月1日	91	93	平成27年8月1日	93	93	<b>平成28年6月1日</b>	<b>93</b>	<b>88</b>									
価格改定年月日	牛脂	豚脂																										
平成26年8月1日	88	93																										
平成27年7月1日	91	93																										
平成27年8月1日	93	93																										
<b>平成28年6月1日</b>	<b>93</b>	<b>88</b>																										